

- ▶ 当市には森林がないことから、県産材を利用した公共施設整備及び森林の大切さを普及啓発する事業に、森林環境譲与税を活用することとしている。
- ▶ 令和4年度においては木材利用の普及啓発活動として、幼少期から市に愛着を持っていただくとともに木製品にも親しんでもらうため、令和4年4月1日以降に生まれた新生児の保護者に県産材を使用した積み木セットを贈呈。
- ▶ 令和5年度においては更に木材利用の普及啓発活動として、子どもたちにSDGsについて身近に感じてもらう機会につなげるため、石川県産の杉の間伐材を使用した木製バッジを作製するなど、普及啓発に努める。

□ 事業内容

新生児誕生祝品の贈呈

・令和4年4月1日以降に生まれた新生児の保護者に、県産材を使用した積み木セットを贈呈

【事業費】3,370,009円（うち譲与税3,370千円）

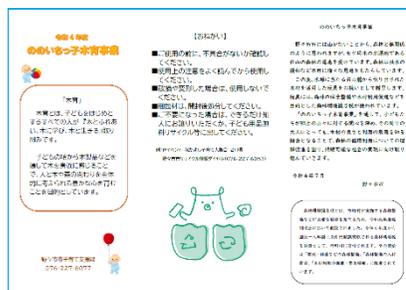
【実績】積み木セット（650個）

□ 取組の背景

・当市には森林がないため、他の市町村と比べ木に触れ合う機会が少ない。幼少期より木製品などを通して木を身近に感じることでできる環境を作り、人と森の関わりを主体的に考えられる豊かな心を育むため、森林環境譲与税を活用し事業を実施。



積み木セット



パンフレット

□ 工夫・留意した点

- ・当市には森林はないが七カ用水を水源とした水源地の森林の恩恵を受けていることから、水源上流にあたる白山市の木材を活用。
- ・積み木の製造は、市民も通う障害者施設に依頼しており、障害のある方の就労にも寄与。
- ・財源に森林環境譲与税を活用していることをPRするため、パンフレットに制度について記載。
- ・積み木を入れる箱に市キャラクターの「のっティ」の焼き印を入れ、市オリジナル仕様とした。

□ 取組の効果

- ・森林環境譲与税制度のPRとなった。
- ・市民からは、木のぬくもりが感じられて、安心して遊ばせられると好評。

◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額：4,629千円	②私有林人工林面積（※1）：0ha
③林野率（※1）：0%	④人口（※2）：57,238人
	⑤林業就業者数（※2）：3人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より